

保土ヶ谷支援学校

# ICT だより



令和6年12月発行 vol.2

発行 教育支援グループ  
情報教育班

「ICT だより」では保土ヶ谷支援学校での ICT 機器を活用した授業の紹介やご家庭で活用できるアプリ、情報モラル等について保護者の皆様にお伝えしていきます。今回は、新しく配備された機器についてです。

## ～分教室に大型電子黒板が配備されました～

9月に横浜平沼分教室、11月に舞岡分教室の1～3年の全教室に65型の大型電子黒板が配備されました。

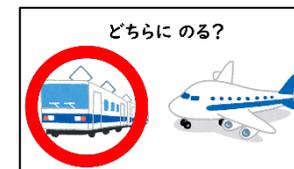
大型電子黒板が配備されたことで、今までのTVモニターだけではできなかった様々な授業を行えるようになりました。例えば、電子ペンや指で直接画面に書き込むことができたり、板書内容を保存することで次の授業にも活用できたりなど、いろいろなことができるようになりました。

教員も研修を行い、よりよい授業ができるよう創意工夫を重ねています。大型電子黒板やChromebookの活用を今後進めて、多様な学習スタイルを実現していけるよう努めていきます。



## ICT 活用実践① 小学部

小学部では、校外学習や遠足などの事前学習に、PowerPoint を活用しています。BGM やアニメーションを効果的に使用し、関心を持って学習できるようにしています。最後にクイズを行うことで、意欲的に取り組む児童も多くいます。また、教員間でPowerPoint を共有することで、各学年で行事に合わせて活用することができています。



## ICT 活用実践② 高等部

高等部では、Chromebook を使用して、インターネットを利用した調べ学習や室内での筋力トレーニングやストレッチの動画視聴を行っています。調べ学習では、マップアプリやGoogle翻訳、経路検索など様々なアプリや機能を目的に応じて利用することで興味を持って学習に取り組んでいます。



## ICT 活用実践③ 横浜舞岡分教室

社会の授業で、各自神奈川の名所「箱根」を紹介するスライドを作成しました。インターネットから様々なメディアの箱根の絵を選択して、それに合う言葉を考え、スピーカーノートに記入していきました。時間は一人2～3分を基準に分量を調整しました。生徒は、自分が思う箱根を表現するために、特徴的な写真(4つ以内)や動画(10秒以内)のメディアを探しました。またそのメディアに合う言葉を短くまとめました。その後、制限時間を守って伝えたいことをクラスの人にプレゼンしました。生徒たちは、調べていた箱根を、自分以外の友達がどんな表現をしているか楽しみながらプレゼンに興味深く聞き入っていました。